



## 2. 科目履修上の注意

## 全学共通科目について

---

「全学共通科目」は、全学部・全学科に共通して開講される科目であり、「共生の理解」「スポーツ・日本文化」「キャリア」「日本語」「外国語」「人文」「社会」「自然」の各分野の科目から構成されます。これらを通じて、主に勤儉誠実の信念と共生き（ともいき）の理念及び総合的教養を身につけます。

- (1) 「共生の理解」では、必修科目として「共生人間論Ⅰ・Ⅱ」、その他「共生人間論実習」を配置し、仏教の立場から「共生き」について考えます。環境や他者の存在により自己が活かされていること、自己中心的な在り方の反省、自己能力の惜しみない提供、相互補完の精神などを学びます。
- (2) 「スポーツ・日本文化」では、「スポーツ」の実技授業として、バドミントン、テニス、バスケットボールなどの種目を開講し、これらを通じて、健康づくりの習慣、自己管理能力・チームワーク・勤儉誠実・共生きなどの態度を身につけます。また、「日本文化」の実技授業として、書道、茶道、華道、舞踊、幅広く歌舞伎、陶芸などを開講し、これらを通じて、総合的教養を身につけるとともに、日本の文化、思想、歴史について幅広く理解します。これらの科目には定員があるため、抽選エントリーを行います。抽選結果により履修登録を行ってください。
- (3) 「キャリア」の分野では、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」（必修）、「キャリアサポートⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を1年次から3年次まで継続的・体系的に開講し、これらを通じて、幅広い総合的教養、コミュニケーション・スキル、論理的思考力などを身につけます。また、3年次には「キャリア実践研究」「キャリア実務演習」を開講し、これらを通じて、専門的職業人としての倫理観・使命感・責任感、及び社会に適応し、その一員として社会の発展に貢献する態度を身につけます。さらに、「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」を開講し、情報通信技術を用いて、多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用する技能を身につけます。
- (4) 「日本語」の分野では、「日本語表現法 A(音声)」「日本語表現法 B(文章)」を開講します。これらを通じて、日本語を用い、的確に読み、書き、聞き、話す技能（コミュニケーション・スキル）を身につけます。
- (5) 「外国語」の分野では、「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（Ⅰ・Ⅱは必修）、「英会話Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（Ⅰ・Ⅱは必修）、「基礎中国語Ⅰ・Ⅱ」を開講します。これらを通じて、外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話す技能（コミュニケーション・スキル）を身につけます。
- (6) 「人文」の分野では、「哲学」「倫理学」「心理学」「日本史」「世界史」「日本文学」「外国文学」「異文化理解」「日本文化論」「仏教文化史」を開講します。これらを通じて、総合的教養を身につけるとともに、多様な文化、思想、歴史について幅広く理解します。
- (7) 「社会」の分野では、「憲法と基本権」「社会生活と法」「暮らしと経済」「市民生活と政治」「社会の成り立ち」「高齢者と福祉」「国際事情」「社会保障論」「社会と福祉」を開講し、これらを通じて、幅広い総合的教養を身につけるとともに、社会と人間とのかかわりを総合的に理解します。
- (8) 「自然」の分野では、「健康と運動」「生活と環境」「自然と環境」「生命の科学」「生物学Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」「物理学」「数学」を開講します。これらを通じて、幅広い総合的教養を身につけるとともに、自然と人間とのかかわりを総合的に理解します。

## 教育学部科目について

---

教育学部教育学科には、「学校教育専攻」「保育専攻」「養護教諭専攻」の3専攻があり、教育学部の学生はいずれかの専攻に所属しなければいけません。「学校教育専攻」か「保育専攻」のどちらの専攻に所属するかは、1年生の春学期末までに決めてください。「養護教諭専攻」への所属は入学時にすでに決まっています。

卒業するには、3専攻とも128単位以上を修得する必要があります。授業科目には大きく分けて「全学共通科目群」「専門科目群」「演習科目群」があり、その中にさらに授業科目区分があり、それぞれの科目区分で卒業に必要な単位数が決まっています。「卒業要件」の表をよく理解してください。

取得できる資格・免許については専攻ごとに決まっています。資格・免許の取得に必要な単位は、大部分が卒業のための単位となりますが、一部の免許を取るための単位は卒業単位とはならないので注意してください。

ガイダンス時の説明と、この履修の手引きの「免許・資格等」のページをよく理解してください。